

新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会における検討班（ワーキング）の体制

【相談支援連絡会の体制】

新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会	①相談支援体制強化班（H30年度～）
	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成ビジョンによる研修に関する事 ・計画相談支援事業所の状況把握と体制整備に関する事 ・福祉サービス事業所等との連携に関する事 ・その他、体制強化に関する事
	②権利擁護班（H30年度～）
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者虐待防止に関する事 ・成年後見にかかわる相談に関する事 ・新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例に関する事 ・障がい者の意思決定に関する事 ・セルフアドボカシー（当事者権利擁護）に関する事
	③精神障がい班（H31年度～）
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス事業所等の精神障がい者への理解促進に関する事 ・精神科病院等とのネットワークに関する事 ・精神障がい者地域包括ケアシステムに関する協議の場との連携
	④療育等支援班（H30年度～）
	④-1 重心ワーキング（R2年度～）
	<ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい児者および医療的ケア児に関する事
	④-2 児童体制ワーキング（R2年度～）
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児のライフステージを通じた支援に関する事 ・障がい児のサービス利用計画作成に関する事 ・障がい児通所支援事業所等のネットワークに関する事 	
⑤地域生活支援拠点班（R2年度～）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等事業の周知、啓発 ・地域生活支援拠点等事業の整備、拡充 ・入所待機者に関する事 ・支援困難ケースの各地域での支援拡充に関する事 	

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会相談支援連絡会名簿

(R3.10～)

所 属		職名・役職	氏 名	備考	
相談支援連絡会	新潟県地域生活定着支援センター	センター長	本多 崇人	会長	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副会長	
	各班WG長	省略(6名)			
相談支援体制強化班	わぁ〜らく	管理者	本井 ひろみ	班長	
	障がい者支援センターわかば	相談支援専門員	白井 祐輝		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	伊藤 祐香		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	五十嵐 美幸		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	肥田野 淳平		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	久代 愛子	副班長	
	江南区健康福祉課 障がい福祉係	係長	小柳 光明		
	障がい福祉課 指定係	主事	小林 諒子		
権利擁護班	新潟県社会福祉士会権利擁護センターばあとなあ新潟	新潟地区運営委員	寺口 祐司	班長	
	新潟市地域包括支援センターあじかた	センター長	小山 弓子		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	乙川 さやか		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	橋川 鮎実		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副班長	
	東区健康福祉課 障がい福祉係	係長	寺尾 明大		
	障がい福祉課 管理係	係長	祝 良平		
	新潟市虐待防止センター(障がい福祉課 管理係)	虐待防止専門員	久住 輝雄		
精神障がい班	地域活動支援センターピース	施設長	渡邊 賢一	班長	
	地域生活支援センターゆとりあ	施設長	横堀 弘美		
	南区社会福祉協議会	コミュニティソーシャルワーカー	熨斗 綾香		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	志賀 あずさ		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	山際 優子		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	丸山 幸代	副班長	
	新潟市こころの健康センター	主査	飛澤 佐代子		
療育等支援班	重心WG	西新潟中央病院	療育指導室長	浅妻 濃	WG長
		はまぐみ小児療育センター	療育支援室長代理	池原 順子	
		新潟大学医歯学総合病院	NICU入院児支援コーディネーター	新保 亜希子	
		みどり病院	地域医療連携室長	中野 博幸	
		新潟市社会福祉協議会 障がい者計画相談支援センター	センター長	笹岡 仁子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	坂井 裕希	副WG長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杉山 貴則	
		障がい福祉課 給付係	主事	五十嵐 直人	
	児童体制WG	児童発達支援 放課後等デイサービス ララスマイル	管理者	竹内 卓	
		相談支援センターこんばす	相談支援専門員	鶴橋 義人	WG長
		新潟市立児童発達支援センターこころん	児童発達支援管理責任者	関谷 久美子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	今田 靖久	副WG長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	貝沼 静江	
		西区健康福祉課 障がい福祉係	主査	内山 貴之	
地域生活支援拠点班	新潟みずほ福祉会	本部長	海老 郁夫	班長	
	ネクサスわかば	管理者	山崎 直美		
	新潟太陽福祉会	法人本部 企画課 課長補佐	細井 聡仁		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	本田 康博	副班長	
	新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	引原 望武		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	関川 敦子		
	新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	山本 実紀		
	北区健康福祉課 障がい福祉係	副主査	森 千春		
	障がい福祉課 給付係	主査	灰野 真紀子		

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

相談支援体制強化班

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成（相談支援専門員研修、人材育成ビジョンの活用） ・相談支援事業所の整備 												
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い相談支援の人材育成を目指す。 ・身近な地域で相談でき、課題解決できる地域の体制整備を目指す。 												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	打合せ		第1回会議		第2回会議	第3回会議	第4回会議	人材育成研修		第5回会議			
活動実績	6/30 7/29 8/26												
			第1回会議	第2回会議	第3回会議								
活動実績	<p>○第1回会議（6月30日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の共有及び今年度の活動方針を確認。 ・相談支援専門員人材育成研修会の開催日を決定。 （内容：インテークとアセスメントについて） ・ブラッシュアップ研修について ・「相談支援事業所業務の手引き」の検証について <p>○第2回会議（7月29日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員人材育成研修について内容、構成を協議。 ・ブラッシュアップ研修について ⇒新潟市の人材育成ビジョンについて現状確認と見直しの必要性。 <p>○第3回会議（8月26日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員人材育成研修について内容、構成を協議。 ・新潟市の人材育成ビジョン作成について検討 												
班員	<ul style="list-style-type: none"> ・班長：本井 ひろみ（わあ〜らく） ・白井 祐輝（障がい者支援センターわかば） ・小柳 光明（江南区障がい福祉係長） ・小林 諒子（障がい福祉課指定係 R3.7に石橋副主査と交代） 						<ul style="list-style-type: none"> ・副班長：久代 愛子（基幹西） ・伊藤 祐香（基幹東） ・五十嵐 美幸（基幹中央） ・肥田野 淳平（基幹秋葉） 						

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

権利擁護班

課題	1 障がい者虐待防止 2 意思決定支援・成年後見制度推進 3 セルフアドボカシー支援 4 障がい理解の啓発												
活動目標	1 全区対応力の均一的発展の支援、警察との関係の模索、虐待防止ネットワーク会議立上検討 2 市地域福祉計画に則った権利擁護支援地域連携ネットワーク構築 3 暮らしのルールブック研修検討、仮称「キーセーフforグッド」講座の開催 4 地域を耕す活動の検討												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			第1回会議			第2回会議			第3回会議			第4回会議	
活動実績	4/13 基幹打合せ		6/2 第1回会議 6/18 共生条 研究会 参加へ例	7/9 市虐待防止センター 職員研修会へ参加	8/4 暮らしの ルール P T ①	9/1 第2回会議	10/4 暮らしの ルール P T ②						
班員	○第1回班会議（6月2日） ・班長、副班長を選出。昨年度の取組みを共有。今後の班活動の方針・予定を決める。（課題・活動目標） ・課題1について 市虐待防止センター職員研修会（7月9日）を皮切りに全区での対応力向上に向け、養護者虐待対応については、昨年江南・秋葉・南・西の4区で行った研修を北・東・中央・西蒲で実施する。警察との関係を模索する。 ・課題2について 市中核機関が動き出した後、基幹センターを含めたネットワーク構成員の役割等について地域包括支援センターと連携しながら体制を整えていく。 ○第2回班会議（9月1日） ・課題1について 養護者虐待対応、昨年江南・秋葉・南・西の4区で行った研修を北・東・中央・西蒲で実施する。 ・課題2について 新潟市地域福祉計画(2021～2026)に軸足を置いてじっくり取り組んでいく事を確認。 次回に地域包括支援センターとの関係について論議を深めていく。 ・課題3について 障がい福祉課管理系の「暮らしのルールブック配布事業（仮称）」への協力を確認。P T活動を権利擁護班第3課題の活動として位置づけ、P T活動を進めていく。まずは、3年前研修会参加事業所へのアンケートから。→配布に合わせて使い方を間違えないようにするための研修会が必要。 ・課題4について この課題を班として取り組んでいく為に、障がい福祉課管理係長に班メンバーとして加わって頂く。係長から新潟市のこの課題の進捗状況を教えて頂く。 ・班長：寺口 祐司（新潟県社会福祉士会権利擁護センターばあとなあ新潟） ・小山 弓子（地域包括支援センターあじかた） ・久住 輝雄（市虐待防止専門員） ・寺尾 明大（東区障がい福祉係長） ※オブザーバー：五十嵐 美幸（基幹中央） ・副班長：竹田 一光（基幹西） ・乙川 さやか（基幹東） ・橋川 鮎実（基幹秋葉） ・祝 良平（障がい福祉課管理係長）												

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

精神障がい班

課題	・精神障がい者が利用できる社会資源の実態把握について (地域活動支援センター (I型・Ⅲ型) の現状把握を中心に)												
活動目標	・精神障がいのある方はどのようなニーズを持っており、どれだけのニーズがあるのか、 実際に地域の資源はどれだけあるのか、充足しているのか 実態把握を行う。 ・精神科病院の地域に対するニーズを把握し、検証する。												
活動計画	4月	5月	6月 第1回会議	7月	8月 精神科病院へ「連携について考える」案内発送	9月 第2回会議	10月	11月	12月 第3回会議	1月	2月 第4回会議	3月	
活動実績	6/29 8/3 第1回会議 市内に精神科病院へ 連携について考える 研修会開催 案内発送												
活動実績	○第1回会議 (6月29日) ・昨年度までの動きを引き継ぐ今後の活動予定を確認。 ・今年度の活動は、精神障がいの方々の地域生活の現状とニーズ調査を中心に実態把握の1年とする。 ・こころの健康センターより「精神障がい者の地域生活を考える会」の活動について情報共有。 ・昨年度より作成している「ケアマネさんのためのガイドブック～精神障がい編～」について、今年度中の配布を目指し協議。 ○精神科病院へ「精神科病院と基幹相談支援センターとの連携について」研修会について案内発送。(8月3日) ・各基幹から各精神科病院へ意向を確認済。 ○第2回会議 (9月9日→県のコロナ特別警報の発令により10月14日に延期) (以下、検討予定事項) ・精神科病院の意向の結果を班内で共有し検証。 ・精神障がいのある方が地域で暮らすうえでどのようなニーズを持っているかについて調査方法を検討。												
班員	・班長：渡辺 賢一 (地域活動支援センターピース) ・横堀 弘美 (地域生活支援センターゆとりあ) ・飛澤 佐代子 (新潟市こころの健康センター) ・志賀 あずさ (基幹中央) ※オブザーバー：乙川 さやか (基幹東) ・副班長：丸山 幸代 (基幹西) ・熨斗 綾香 (南区社会福祉協議会) ・山際 優子 (基幹秋葉)												

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

療育等支援班（重心ワーキング）

課題	①重症心身障がい（医療的ケアを含む）へのより良い理解をするための学びの場が少ない ②具体的な支援策につなげる（医療、地域の相談員との相互理解を深める必要がある） ③現在ある社会資源の活用を考える												
活動目標	①重症心身障がい（医療的ケアを含む）について研修会を開催し、地域の支援者の理解を深めていく。 ②医療機関への緊急時の受け入れ対応など、医療と福祉を繋ぐ情報提供ツールとして活用するための準備をすすめる。 ③対象児者の全体像を掴み、適切な受け入れ先事業所へ繋げるための事業所マップを作成し、ご家族・地域の相談員など幅広く活用できるものを作成する。												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	引継ぎ会議		第1回会議	第2回会議		第3回会議		研修会		第4回会議			
活動実績	4/22		6/15	7/20	8/12								
	引継ぎ会議		第1回会議	第2回会議	メンバー会議								
○引継ぎ会議（4月22日） ・昨年度から継続、「情報共有シート」の作成 ・構成メンバー検討 ・今年度の活動計画案の検討 ○第1回会議（6月15日） ・構成メンバーの紹介（メンバーの大幅な変更は行わず） ・令和3年度重心ネットワークにいがた連絡会議の報告 ・昨年度の取組みの報告 ・今年度の取組みについて（①研修会 ②医療と福祉を繋ぐ情報提供シート作成） ○第2回会議（7月20日） ・今年度の活動目標を定め、上記活動計画を立てる ・重症心身障がい児者（医療的ケア児を含む）の受け入れ実績がある通所・短期入所事業所マップの内容検討 ・研修会の開催に向けた検討 ○研修会コアメンバー会議（8月12日） ・研修会内の重心事業所紹介について内容を検討する（市内3か所の事業所から協力頂く） ○第3回会議（9月28日） ・研修会の段取りについて調整 ・情報提供シート及び事業所マップの作成状況について共有し、必要な項目等について検討を実施													
班員	・WG長：浅妻 濃（西新潟中央病院） ・新保 亜希子（新潟大学医歯学総合病院） ・中野 博幸（みどり病院） ・五十嵐 直人（障がい福祉課給付係） ・古川 芳子（ほがらか福祉園 トウインクル）※途中辞退（R3.9）						・副WG長：坂井 裕希（基幹中央） ・池原 順子（はまぐみ小児療育センター） ・笹岡 仁子（新潟市社会福祉協議会障がい者計画相談支援センター） ・杉山 貴則（基幹秋葉）						

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

療育等支援班（児童体制ワーキング）

課題	①障がい児相談支援事業所のスキルにばらつきがある。（支援員の力量や感性が問われる。児童の発達の理解や家族への支援やかかわりを学ぶ機会がない。） ②関係機関との連携（早期発見、早期対応、療育支援について）が取りにくい。 ③福祉サービス利用の際の流れについて、事業所を決めてから手続きしているという矛盾している現状がある。												
活動目標	①児童の計画相談支援事業所、児童サービス事業所等向けの研修の企画、運営。【毎年継続】 ②障がい児福祉サービスに関するパンフレットを作成し、啓蒙活動を行う。												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1回会議		第2回会議			第3回会議	第4回会議		児童支援者向け研修	第5回会議			
活動実績	4/13		6/11			9/1							
	第1回会議		第2回会議			第3回会議							
活動実績	○第1回会議（4月13日） ・令和2年度児童支援者向け研修の振り返り ・令和3年度の活動目標の決定 ①児童支援者向け研修会実施 ②障がい児福祉サービスの周知と利用促進 （障がい児福祉サービスに関するパンフレット作成（保育士、保健師等向け）など） ○第2・3回会議（6月11日、9月1日） ①児童支援者向け研修会の内容検討 ②障がい児福祉サービスに関するパンフレットの内容検討 →サービス利用の流れ、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援のパンフレットを作成中。 A3、1枚（両面）にまとめる予定。 ③トライアングルプロジェクト（家庭・学校・福祉の連携）の推進について												
班員	・WG長：鶴橋 義人（相談支援センターこんぼす） ・竹内 卓（放課後等デイサービス ラスマイル） ・関谷 久美子（新潟市立児童発達支援センターこころん（障がい児相談支援））						・副WG長：今田 靖久（基幹東） ・貝沼 静江（基幹西） ・内山 貴之（西区障がい福祉係）						

令和3年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会
各班活動の実績

地域生活支援拠点班

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等事業の認知度の向上。拠点等事業の拡充、点検。 ・拠点事業所の連携強化、調整。 ・入所者の地域移行及び重度化高齢化を見据えた地域の支援体制づくり。（入所待機者を増加させない取組み） ・緊急時を見据えた計画的な短期入所の利用促進。 ・強度行動障がい等、特に支援困難を有する者の各地域における支援体制の拡充。 												
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点認知の向上 ・相談支援事業所への地域生活支援拠点の整備（登録依頼）。 ・短期入所支給決定者への利用促進。らいとはうす事業との連携の確認（短期入所利用先への基本情報の開示、区のCW,計画相談との連携）。 												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			第1回会議	第2回会議	連絡調整会議 拠点事業所	第3回会議		第4回会議		第5回会議	連絡調整会議 拠点事業所	第6回会議	
活動実績	4/27		6/1	7/15		9/15							
	基幹打合せ		第1回会議	第2回会議		第3回会議 9/24 所拠点 連絡調整 会議							
	<p>地域生活支援拠点等事業の整備の推進。 →区協議会等で上がった地域課題を解消するために行う協議において社会資源の有機的な連携等により、障がい者が地域生活の継続を選択できる地域づくりができるよう、常に拠点機能を念頭においた検討を行う（拠点事業所を増やすことが目的とならないよう留意する）。</p> <p>○基幹打合せ（4月27日） ・委員メンバー選出、昨年度の引継ぎ（らいとはうす登録要件者への短期入所の利用を促す、GH把握事業の進捗について、相談支援事業所への拠点登録について、基幹相談支援センターの人材育成機能、強度行動障がい者受入れについて）、課題・目標・活動計画の素案作成。</p> <p>○第1回会議（6月1日） ・昨年度の協議内容を確認。 ・昨年度までの「障がい者夜間休日相談支援事業連絡調整会議」を「拠点事業所連絡調整会議」として開催する（2回/年）ことを確認。</p> <p>○第2回会議（7月15日） ・相談支援事業所拠点登録報告→拠点登録への意向がある事業所を確認。 ・らいとはうす登録者の短期入所利用状況の確認→第1・2要件該当者について確認。 ・地域生活の継続に向けた相談支援の実施について検討。</p> <p>○第3回会議（9月15日） ・らいとはうす登録者の短期入所利用状況の確認→第3要件該当者を中心に確認。</p> <p>○拠点事業所連絡調整会議（9月24日） ・地域生活支援拠点等事業の実施状況について、関係事業所間で確認。</p>												
班員	<ul style="list-style-type: none"> ・班長：海老郁夫（新潟みずほ福祉会） ・山崎直美（中蒲原福祉会 ネクスわかば） ・細井聡仁（新潟太陽福祉会） ・森千春（北区障がい福祉係） ・灰野真紀子（障がい福祉課給付係） 						<ul style="list-style-type: none"> ・副班長：本田康博（基幹東） ・引原望武（基幹中央） ・関川敦子（基幹秋葉） ・山本実紀（基幹西） 						